


 耳下腺がはれたらおたふくかぜ?	1ページ
 医療福祉相談室だより / 「さようなら、ますだ先生」 / 募集案内	2ページ
 ダイエット桜餅 / 「糖尿病教室4月」のお知らせ	3ページ
 アレルギー教室のクッキング / 外来からのお知らせ / 外来診察のご案内	4ページ



## 耳下腺がはれたら

## おたふくかぜ

**お** たふくかぜは、「ムンプス」、「流行性耳下腺」とも呼ばれているムンプスウイルスによる感染症です。平安時代の書物にも登場する古くから知られた感染症です。このおたふくかぜの研究を、亀山の落合先生、鈴鹿の渡辺先生、二井先生、伊佐地先生達と続けています。研究を続けていますと、新しいことが見つかってきました。その一部を紹介しましょう。

**耳** 下腺がはれる病気には、おたふくかぜ以外にも、「反復性耳下腺炎」、「化膿性耳下腺炎」、「唾石症」などがあります。おたふくかぜは4年ごとにはやります。おたふくかぜがはやっているときの耳下腺腫脹は「おたふくかぜ」によるものですが、おたふくかぜがはやっていないときの耳下腺腫脹は「おたふくかぜ以外」が原因です。おたふくかぜ以外が原因のときは園や学校を休む必要はありません。

**お** たふくかぜのとき、いつまで園や学校を休ませないといけないかよく相談を受けます。つばからムンプスウイルスを分離するという研究を続けていると、おたふくかぜでは、耳下腺がはれる2日前から人にうつしはじめ、耳下腺がはれきるまでは感染力があり、はれが引き始めると感染力がなくなることがわかりました。今学校保健法では、耳下腺の腫れが引くまで園や学校を休まなければいけないことになっていますが、そんなに長く休ませなくてもいいようです。

**日** 本のおたふくかぜワクチンの有効率もわかってきました。有効率は80～90%です。おたふくかぜワクチンを受けていてもよくおたふくかぜにかかるというわさを聞きますが、日本のおたふくかぜワクチンの有効率は、欧米のワクチンと遜色はありません。なお、おたふくかぜワクチンを受けていても、おたふくかぜ流行中に耳下腺がはれたときはムンプスウイルスの感染によるものですが、流行していないときに耳下腺がはれたときは、おたふくかぜ以外が原因であることもわかりました。

**お** たふくかぜワクチンを受けていると、おたふくかぜにかかっても学校を休む期間が2～3日短くなり、無菌性髄膜炎を合併する危険性も減少します。また、周囲へ感染する力も初めてかかった人よりもかなり弱いこともわかりました。今日本では二種類のおたふくかぜワクチンが使われていますが、ワクチン後におたふくかぜにかかったときの周囲への感染する力は株によって異なるようです。

**お** たふくかぜによる難聴が話題になっています。400～1,000人に1人の割合で発症します。多くは片側だけの難聴ですが、発症してしまうと元に戻らない病気です。1,000人に1人の割合で発症する脳炎も治りにくい合併症です。難聴や脳炎の発症を予防するためにもおたふくかぜワクチンは受けておきたいワクチンです。

(院長 小児科 庵原 俊昭)